

---

## ・事業の概況（平成28年度）

---

### 損益の状況

事業総利益は26億6,210万円で前年対比2,705万円の減少となりました。

事業利益は1億4,424万円で前年対比8,669万円の増加となりました。

経常利益は2億4,972万円で前年対比9,144万円の増加となりました。

税引前当期剰余金は2億3,082万円で前年対比5,569万円の増加となりました。

税引後当期剰余金は1億4,319万円で前年対比3,781万円の増加となりました。

---

### 営農指導事業

平成28年度は、台風による被害は比較的少なかったものの、秋以降の曇天・長雨による天候不順の影響から農作物の生育に大きく影響を及ぼした年でした。

組合員の農作業繁忙期に職員が作業を手伝う「農家支援事業」では、157件の農家に対し、280名（延べ560名）の職員が支援を実施しました。

また、鳥獣被害対策事業においては、駆除実績3,705頭と前年を大きく上回り、被害防止負担等とあわせ14,528千円を支援しました。

---

### 園芸部門

1. 下田高校南伊豆分校と連携し、野ぶきの新品種登録に向けた選定や栽培・育苗方法を検討しました。

2. 経営農業支援システムによる、いちご農家へ個人面談を実施し、栽培環境を整え安定した生産に努めました。

3. 農家の高齢化対策として軽量作物（花麦・豆の花）普及に努めました。

---

### 柑橘部門

1. 新品種「はるひ」の普及に努め、生産部会強化・担い手とのリレーション強化体制整備に努めました。

2. 各部会において栽培講習会・園地巡回を実施し、高品質果実の生産に努めました。

3. 防除暦を遵守した適期防除により、安心・安全な柑橘類の生産に努めました。

---

### 林産部門

1. 山葵の出荷情報の伝達を系統販売機関と密に取り、有利販売に繋げるとともに消費の拡大及び生山葵のPRのため、消費宣伝会を実施しました。

2. 乾椎茸の選別講習会を開催し、選別技術の向上、ほだ場巡回による栽培技術の向上に努めました。

---

### 生活指導事業

1. ～郷土料理を次世代に～をテーマに親子クッキングフェスタを開催しました。

2. ～いっしょにやろうよ～の活動により、認定こども園・小学校等で交流を行いました。

3. いきいきライフセミナー（営農加工・手芸・料理・健康・陶芸）などのクラブ活動を行い、部員の交流や知識の向上を図りました。

---

## 広報事業

1. ホームページ情報公開のスピード化を図り、地域に根ざしたJAの姿を伝えました。
2. 農産物の販売に貢献するJAの取り組みやJA職員の姿を伝えました。
3. 県下統一キャッチコピー「おいしいをつくりましょ。」の活用を進めました。
4. パブリシティ活動を強化しJA伊豆太陽の存在性をPRしました。

## 販売事業

9月の長雨や日照不足により、絹さや・いちご・カーネーション・スナップに出荷遅れや収量減少・品質低下等、販売に大きく影響がありました。柑橘類では、甘夏が暖冬や年明け寒波の影響から果実落下が見られ、大幅な収量減となり計画未達となりました。

ニュー・サマー・ハウスみかんについては、出荷量は減少しましたが単価高により計画は達成できました。山葵は、生育順調により春先から出荷増となり単価を下げましたが、夏以降は単価を戻し堅調な販売ができました。年末需要も安定販売ができたことから計画を達成しました。「ほのぼの売店」は、出荷者・来客数ともに増加し計画を大きく上回りました。

なお、柑橘の有利販売に向け産地パワーアップ事業を活用し第一共選場の光センサー・カラグレーダーを更新しました。

## 購買事業

平成28年度は3か年計画の最終年度として「農業者の所得増大」を図るべく生産資材価格の見直しを行い、肥料30品目、農薬24品目の価格引き下げを行いました。また、包装資材の仕入コスト削減を行い価格を抑えた供給を行いました。10月にAコープ田子店をリニューアルオープンし、仕入先の変更・商品の見直しを行い大規模店に引けを取らない低価格を実現し地域組合員・利用者へ貢献しました。

また、食料品移動販売においては、利用者の要望にあわせ商品の充実と巡回地区の見直しを行い好評をいただいております。

### 1. 生産資材

生産者農家の高齢化や減少、さらに肥料・農薬の一部価格を引き下げたことにより、飼料76.9%、肥料92.0%、包装資材89.0%と計画を下回りました。農業機械111.4%、石油類（生産）113.0%が計画を上回りましたが、生産資材全体では97.5%と計画を下回りました。

なお、生産コスト軽減の取り組みとして、生産資材割戻金及び農業用施設燃料利用助成金を9,641千円支援しました。

### 2. 生活資材

生活資材につきましては、購買米89.9%、また、4月からAコープ田子店が日曜日休業となり、6月にAコープ安良里店を廃止したことにより食料品77.1%と計画を下回り、生活資材全体でも87.8%と計画を下回りました。

### 3. 葬祭事業

メモリアルホールの利用が順調に推移し、施行件数は396件で、前年より23件増加し、ホール利用率は全施行件数の82.8%となりました。又、伊豆斎場での占有率は41.1%となりました。

## 金融事業

平成28年度は、アメリカ新大統領就任、イギリスのEU離脱を見据えたヨーロッパ情勢等々、変化を求めた国際情勢のなか、国内においても少子高齢社会、年金問題、規制緩和の遅れなど、諸問題が解決されず、日銀によるマイナス金利の導入や消費増税の再延期といった不透明な状況が続いております。

このような状況下、JA伊豆太陽3か年計画の最終年度であります平成28年度については、継続して「農業・暮らしに貢献するためのJAバンク機能の発揮」を基本方針に掲げ、組合員・利用者の信頼に応える事業実施態勢を強化し、農業金融サービスの提供及び相談機能の強化に取り組んでまいりました。

貯金については、相続による他県流出に歯止めがかからず、年度初来12億円の伸長に留まりました。貸出金については、住宅着工件数の減少やマイナス金利の影響による他行低金利借換、大口貸出金の償還もあり、45億円の減少に終わりました。

また、地域密着型企业として、地域の農業の大切さと地域で働くことの大切さを知ってもらうため、管内小学生を対象に「1日こども店長」を実施しました。

## 金融円滑化に関する対応

当組合は、農業者の協同組織金融機関として「健全な事業を営む農業者をはじめとする地域のお客さまに対して必要な資金を円滑に供給していくこと」を最も重要な役割の一つであると認識し、その実現に向けて「金融円滑化にかかる基本方針」を理事会にて制定し、取り組んでおります。

### 金融円滑化にかかる基本方針（概要）

- 1 新規のご融資・お借入条件の変更等のお申込みに対する、柔軟な対応
- 2 お客さまの経営相談等、経営改善に向けた取組みへの支援
- 3 新規のご融資・お借入条件の変更等のご相談・お申込みに対する適切かつ十分な説明
- 4 新規のご融資・お借入条件の変更等に関する苦情相談への公正・迅速・誠実な対応
- 5 金融円滑化法の趣旨を踏まえた適切な対応
- 6 当組合の金融円滑化管理に関する体制

方針の全文については、ホームページをご覧ください。

なお、苦情相談等を適切に行うための体制については以下のとおりとなります。

(1) お客さまからの金融円滑化にかかるご相談の窓口を金融部に設置しているほか、各支店においても承っております。

(2) お客さまからの当組合の金融円滑化にかかる措置に対する苦情については、苦情等統括部署に受付窓口を設置しております。また、各支店で苦情を受けた場合には、当組合所定の手続きに従って、速やかに苦情等統括部署に連絡をし、各支店が連携のうえ、適切な対応を実施する体制を整備しております。

また、当該措置に係る中小企業者の事業についての改善又は再生のための支援を適切に行うための体制については、金融円滑化責任部署又は金融円滑化管理協議会等を中心に、お借入条件の変更等を行ったお客さまの経営状況や経営改善計画の進捗状況を継続的に把握し、必要に応じて経営改善又は再生のための助言等を行う等、お客さまへの支援について真摯に取り組めます。

特に、農業者のお客さまに関しましては、当組合の営農部門とも連携し、経営相談等行う体制を整備しております。

---

## 共済事業

---

ＪＡ共済事業の展開を図る環境は、主軸である観光業の低迷に加え正組合員・利用者の高齢化と人口減少が一段と進んでおり、将来的にも厳しい状況が想定されます。本年度は3か年計画の最終年度にあたり、組合員・利用者に必要な保障を的確に届け、期待以上の対応を目指した利用者対応力の強化に取り組むとともに、現役世代だけでなく次世代への「安心」と「満足」を提供する絆づくりに取り組みました。

このような厳しい環境、競合他社がひしめくなか、職員一丸となった普及活動とライフアドバイザーを中心とした保障の見直し・提案活動を積極的に取り組んだ結果、平成28年度の推進総合ポイント目標の達成ができました。

また、次世代との絆づくりでは、「アンパンマンこどもくらぶ」を8月に新設、60名の新規目標に対し73名の会員獲得がありました。

一方、短期共済においては、自動車事故査定業務が県下ＪＡ第1位の対応力評価を頂き、自動車共済の新規獲得に繋がるとともに、継続時の積極的なグレードアップ推進により推進総合ポイント目標達成に大きく貢献しました。

共済保全業務につきましては、万一の災害に備えた自然災害損害調査員研修会をはじめとする各種研修会を実施し、知識向上、対応力向上を図るとともに、コンプライアンス態勢の徹底に努めました。

---

## 加工事業

---

地域観光業への加工品卸売販売が厳しいなか、夏場のオリジナル飲料販売と、県内外量販店等への「わさび漬」の販売が好調でした。また、ベーステージ下田ＪＡ直売センターでの販売力向上に努めたことから、加工所全体の販売高は156,706千円（計画対比106.0%前年対比102.1%）となり、計画を達成することができました。

---

## 福祉事業

---

居宅介護支援事業では、年間1,740人の計画に対し1,774人、利用者数では計画を上回りましたが、収益額については軽介護者の増加により、居宅介護支援報酬が減少したために計画を下回りました。

訪問介護事業では、年間1,080人の計画に対し、764人と大きく減少となりました。ヘルパーの減少や、利用者の病院への入院や施設への入所等が要因となりました。

福祉事業全体では、費用削減に努めましたが、差引収益41,473千円（計画対比85.5%）となり、前年対比でも92.9%となり、計画対比、前年対比とも未達となりました。

---

## 監査部門

---

平成28年度は、内部管理態勢および内部牽制を重視した監査の強化に努め、不祥事の未然防止と早期発見に重点を置き、本店を含め全事業所の無通告監査及び一部の事業については外部確認を実施し、リスクの高い取引や事務処理等の適正性・有効性を中心に監査を実施しました。

また、管理者に対しては、日常の管理状況を検証し、リスク認識の強化を図るとともに管理意識の高揚に努め、担当者には事務マニュアルに沿った事務処理の徹底とコンプライアンス意識の強化を図る指導監査を実施しました。

---



## 事業・活動のトピックス（平成28年度）

年 月 日	処 理 事 項
平成28年4月1日	平成27年度定年退職者退所式
5日	L A進発式
7日	第26回青壮年部通常総会
8日	第57回東伊豆町花卉園芸組合通常総会
18日	青壮年部河津支部食育活動（落花生の種まき）
20日	第26回女性部通常総代会
18日～5月2日	平成27年度決算監事監査
28日	第1回定例理事会
	第1号議案 出資減口について
	第2号議案 下河津支店建設委員会の設置について
	第3号議案 平成27年度不良債権の処理方針について
	第4号議案 平成28年度コンプライアンス・プログラム について
	第5号議案 平成27年度JA全国監査機構決算期中監査回答 について
	第6号議案 信用事業規程の一部変更について
	第7号議案 余裕金運用規程及び余裕金運用等にかかるリスク 管理手続の一部変更について
	第8号議案 Aコープ安良里店の経営譲渡について
5月6日	静岡県花卉園芸組合カーネーション部会消費宣伝
9日～11日	J A全国監査機構決算期末監査
10日～11日	ちょきんぎょ旅行 「申年の運氣にあやかるう！日光2日間の旅」
13日～23日	地区別座談会
17日	第1回監事会
19日	南伊豆花卉園芸組合通常総会
27日	第2回監事会
"	第2回定例理事会
	第1号議案 平成27年度貸借対照表、損益計算書、余剰金処分案、 注記表、事業報告、付属明細書の承認について
	第2号議案 第26回通常総代会について
	第3号議案 定款及び定款附属書役員選任規程の一部変更 について
	第4号議案 役員選任細則の一部変更について
	第5号議案 規約の一部変更について
	第6号議案 メモリアル仁科建設中止について
	第7号議案 理事貸付について
	第8号議案 大口貸付について
30日～31日	いきいきライフセミナー開講式









年 月 日	処 理 事 項
平成29年2月3日～5日	第66回関東東海花の展覧会
7日～10日	金融・共済合同観劇 「山川豊・田川寿美歌謡ショー」
14日	女性部中・南部地区健康講座・ミニドック検診
16日	女性部西部地区健康講座・ミニドック検診
17日	Ⓚわさび共販委員会総会・販売検討会
18日～19日	第33回 静岡県花の展覧会
21日	女性部東部地区健康講座・ミニドック検診
〃	J A伊豆太陽1支店1 協同活動発表大会
22日	マーガレット消費宣伝
27日	平成29年度新採用職員入所式
28日	第11回定例理事会 第1号議案 次期3か年計画(案)について 第2号議案 平成29年度事業計画(案)について 第3号議案 運営協力員設置要領の新設について 第4号議案 平成28年度J A全国監査機構期中監査回答書 について 第5号議案 農産物検査業務規程の一部変更について
3月4日	第27回J A伊豆太陽農業祭
13日	女性部いきいきライフセミナー閉講式
15日～17日	J A全国監査機構資産自己査定監査
16日	第10回監事会
25日	みのりみのるマルシェ(銀座三越)
29日	第12回定例理事会 第1号議案 下河津支店建設伴う解体契約の締結について 第2号議案 学識経験・女性・青壮年部理事及び学識経験・ 員外監事の推薦について 第3号議案 総代選挙の実施について 第4号議案 職員給与規程の一部変更について 第5号議案 平成29年度余裕金運用について 第6号議案 平成29年度余裕金運用方針・計画について
31日	平成28年度決算棚卸監査